

10E-1

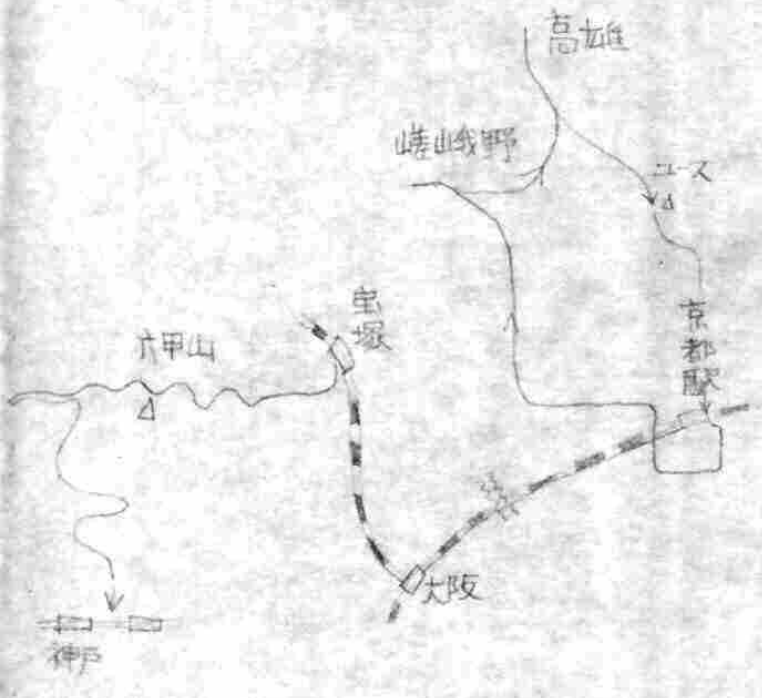
京都 神戸のんびりツアー

屋台一歩

期日 10月5日と10月8日

コース 京都↓中内↓京都↓宝塚↓六甲山
↓三ノ宮↓神戸

キヨリ 七〇km



10月5日 東京駅から「銀河」に乗り込んだ。もう外は真暗ら。輸送袋を直路において朝まで眠た。

10月6日 午前七時30分 京都駅に着いた。重い輸送袋をサッパいで改札を出て、まずは朝めしを食った。修学旅行生や通勤客を横目に。よく組み立てはじめた。すると今エトシ腕を忘れたのに気がつき駄賃くの店で買った。自転車はまあまあ作調で、東寺までものの四五分で着いた。しかし往復料が高いので外からのみならず、再びバタを踏んで西へ進む。往橋を渡ると山が前方に見える。其手もすぐそこだ。そこで十分休養を取り午前十時頃嵯峨野へ向った。京都の町は広い。嵯峨野にもあつた。間を走ると寝はしても狭い。嵯峨野にもあつた。間に到着し、ちよつと早いか居めじに場とらう。食へた。(少々値段は高か。たか) 嵐山付近は交通

量も少なくても身持が入まかった。着脱後
は嵐山高胡パークウェイを通って高嶺にてま
うとしたら料産所で、自乗車はせめたときわ
れしかたなく迂回してR道を通り高嶺に行つ
た。途中、北山一帯を回りつて来たと思われ
る中イクリストに出会った。高山寺、神護寺
台を見ても夕方とユースに着いた。この
日の天候は快晴

10月7日、昨日の天候とはうって変わりつて夏
だ。低気圧の影響で午後から雨だとのことだ。
そこで宝塚まで騎行して行った。宝塚に着く
と小雨が降り出し山のまはもやがかかっ
てい
る。急いで直前を腹につめ、出発した。初
めカラ川沿いに急坂を登りはじめ、勾配は
ほとんどゆるやかなほうない。ゴルフ場をすこ

と坂がたまたますくンサーと勢とし30分登つ
て休憩、それから20分10分登って休憩で直前か
たり、山頂まで9kmのところまでたまりかゝりて
降りて押しはじめた。すると山頂まで5.6
kmの付近から濃い霧が発生、固く厚くなりこ
こを走っているのかまったく見えない。四
配はややゆるくなつたせいか自乗車でもうや
ら登れるようになり、いつの間にか山頂を通
り過ぎを悟りた。峠を越したうしく下り坂の
始し、收場はついたのは午後3時半、雨かひ
どくなくてきたので少し引返してまた甲斐
を直つてあつたという間は三ノ宮にいた。下
りがこれほど恐く感じたのははじめてである。
10月8日、朝方雨が降っていたが春はなやみ
神戸港を見物し、夜東京に着いた。